



N.Inaba

ジャパン・オータムインターナショナル

## THE QUEEN ELIZABETH II CUP

## 第50回 エリザベス女王杯 (GI)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 130,000,000円	52,000,000円	33,000,000円	20,000,000円	13,000,000円
付加賞 3,486,000円	996,000円	498,000円		

レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

牝、3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳54kg 4歳以上56kg

2025.11.16 京都 晴・良 芝2200m (国際) 指定

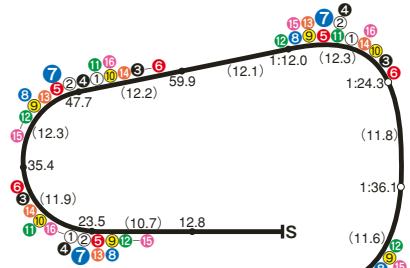
種 騒	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
					(着差)	通過順位	(600m)	(増減)				
1 ⑦	レガレイラ	牝4	56	戸崎圭太	2:11.0	9-10-10-8	34.2	480(+8)	2.31	木村哲也(美浦)	117	
2 ①	パラディレース	牝3	54	岩田望來	1 ¼	7-6-6-5	34.7	508(+6)	10.04	千田輝彦(栗東)	113	
3 ⑫	ライラック	牝6	56	藤岡佑介	1	15-15-16-16	34.2	456(-2)	32.79	相沢 郁(美浦)	111	
4 ⑯	リンクスティップ	牝3	54	C.デムーロ	アタマ	6-4-4-3	35.0	482(+2)	5.82	西村真幸(栗東)	111	
5 ⑯	ココナッツップラウン	牝5	56	北村友一	½	11-12-12-12	34.6	462(+2)	6.23	上村洋行(栗東)	110	
6 ⑩	セキトハイスクート	牝4	56	浜中 後	½	4-4-3-3	35.3	468(-10)	36.50	四位洋文(栗東)	109	
7 ⑤	サフィラ	牝4	56	西村淳也	ハナ	11-10-10-11	34.8	470(+6)	118.70	池添 学(栗東)	109	
8 ⑧	ヴエルミセル	牝5	56	鮫島克駿	½	13-13-14-12	34.7	468(±0)	48.50	吉村圭司(栗東)	108	
9 ⑪	フェアエールング	牝5	56	丹内祐次	1 ½	4-6-7-8	35.2	464(±0)	50.49	和田正一郎(美浦)	106	
10 ②	ステレンボッシュ	牝4	56	C.ルメール	クビ	9-9-7-8	35.4	472(±0)	13.26	国枝 栄(美浦)	106	
11 ⑨	ボンドガール	牝4	56	津村明秀	クビ	13-13-12-14	35.1	460(+2)	44.10	手塚貴久(美浦)	105	
12 ⑥	エリカエクスプレス	牝3	54	武 豊	ハナ	1-1-1-1	36.0	462(±0)	12.25	杉山晴紀(栗東)	105	
13 ③	シンリョクカ	牝5	56	木幡初也	1	2-2-2-2	36.0	464(-2)	36.60	竹内正洋(美浦)	103	
14 ⑯	ケリフレッドアスク	牝3	54	岩田康誠	¾	3-3-4-5	35.9	456(-2)	145.60	藤原英昭(栗東)	102	
15 ④	カナーテーブ	牝6	56	D.レーン	1 ¼	7-8-7-5	36.1	468(±0)	26.57	堀 宣行(美浦)	100	
16 ⑯	オーロラエックス	牝4	56	松山弘平	2 ½	16-16-14-14	35.9	488(±0)	26.70	杉山晴紀(栗東)	96	

単勝①230円(1%) 複勝⑦130円(1%) ①280円(4%) ⑫460円(7%) 枠連①-④690円(2%)

馬連①-⑦1,280円(3%) ワイド①-⑦610円(3%) ⑦-⑫950円(7%) ①-⑫3,430円(42%)

馬單①-⑦1,720円(3%) 3連複①-⑦-⑫8,920円(26%) 3連単①-⑦-⑫24,680円(52%)

5重勝⑥⑯⑩⑯⑦366,090円(1,364票) 対象競走: 東京10R/京都10R/福島11R/東京11R/京都11R



通過タイム : 600m 800m 1000m  
上り : 800m 600m  
35.4 - 47.7 - 59.9  
11.6 - 46.7 - 34.9

## アラカルト

- 戸崎圭太騎手はエリザベス女王杯初勝利。JRA重賞は25年8勝目、通算85勝目
- 木村哲也調教師はエリザベス女王杯初勝利。JRA重賞は25年6勝目、通算37勝目
- スワーヴリチャード産駒はJRA重賞通算9勝目
- 4歳馬の勝利は22年ジェラルディーナに続く通算14回目(古馬混合となった96年以降)
- 勝ちタイム2:11.0は24年スタンシングローズが記録した2:11.1を更新するレースレコード

# レガレイラ *Regaleira*

牝 鹿毛 2021.4.12生

北海道安平町 ノーザンファーム生産

馬主・(有)サンデーレーシング 美浦・木村哲也厩舎

馬名意味・ボルトガル中西部の都市シントラにある宮殿

ウインドインハーアヘIRE系 F2-f	
スワーヴリチャード 栗毛 2014	ハーツクライ 鹿毛 2001
	サンデーサイレンスUSA アイリッシュダンス
口力 鹿毛 2012	ピラミマUSA 黒鹿毛 2005
	Unbridled's Song Career Collection
ハービンジャーGB 鹿毛 2006	Dansili
	Penang Pearl
ランズエッジ 鹿毛 2006	ダンスインザダーク
	ウインドインハーアヘIRE

5代までのインブリード: サンデーサイレンスUSA S 3×M 4 Lyphard S 5×M 5

## INTERVIEW

佐藤洋輔 調教主任(ノーザンファーム早来)

### 牝馬初の有馬記念連覇を期待します

ベストな状態ではなかったにもかかわらず、最高の結果が残せたオールカマーを見て、改めて能力の高い馬だと思いました。中間を担当していたノーザンファーム天栄の厩舎長が、「自信を持って木村厩舎へ送りだせました」と話していたのですが、テレビの画面越しに見ても状態の良さが伝わってきました。この後は牝馬では史上初となる有馬記念連覇を期待します。



グラントプリホースとして迎えた2025年、骨折明けの宝塚記念では大敗(1着)を喫した本馬だが、夏場の休養を挟んで態勢立て直された秋はさすがのパフォーマンスを披露。始動戦のオールカマーに続いてこの日も身上の末脚を冴え渡らせ、2歳時のホープフルSから3年連続のGI制覇、1番人気の支持に応えられなかつた1年前(5着)の露濡も果たした。いつそ実績を増した印象の女王は暮れの大一番に進み、達成すれば史上5頭目、ぶりとなる有馬記念連覇に挑む。

22年

### 父スワーヴリチャード

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、首19戦6勝(ジャパンC G1、大阪杯G1、金鯱賞G2)、アルゼンチン共和国杯G1、共同通信杯G3、日本ダービーG1 2着、東京スポーツ杯2歳S G3 2着、ジャパンC G1 3着、ドバイシーマクラシック、首G1 3着、宝塚記念G1 3着、安田記念G1 3着)、20年から供用(代表産駒)レガレイラ(本馬)、アーバンシック(後出)、コラソンビート(京王杯2歳S G2)、フィリーズレビューG2 2着、阪神ジュベナイルフィリーズG1 3着)、スウィーピーフィート(チューリップ賞G1)、アドマイヤベル(フローラS G2)

### 母ロカ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央6戦1勝(忘れた草賞G2 2着、クイーンC G3 3着)

ロックオブエイジズ(18 牝父スクリーンヒーロー)中央5戦0勝、地方4戦1勝  
ドゥラドーレス(19 牝父ドゥラメンテ)中央12戦5勝(小倉日経賞G1、江の島S、藻岩山特別、セントポーリア賞、オールカマーG2 2着、エプソムC G3 2着、七夕賞G3 2着、毎日杯G3 3着、菊花賞G1 4着)④  
(20 牝父ジャスタウェイ)

レガレイラ 本馬(21 牝父スワーヴリチャード)中央11戦5勝(有馬記念G1、エリザベス女王杯G1、ホープフルS G1、オールカマーG2)、アイビーS・L 3着)獲得総賞金835,637,000円

セラドビラール(22 牝父シュヴァルグラン)中央7戦0勝

アルガルヴェ(23 牝父インディチャンプ)④

(24 牝父リオンディーズ)

(25 不受胎)

### 祖母ランズエッジ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央0勝

ロカ(12 前出)

エッジースタイル(13 牝父ハービンジャーGB)中央3勝(都井岬特別)、アーバンシック(菊花賞G1、セントライト記念G2)の母

ブルークランズ(14 牝父ルーラーシップ)中央3勝(北大路特別)、ステレンボッシュ(桜花賞G1、オースクG2 2着、阪神ジュベナイルフィリーズG1 2着、秋華賞G1 3着、香港ヴァーズG1 3着)の母

ヴァルコス(17 牝父ノヴェリストIRE)中央2勝(ゆきやなぎ賞、青葉賞G2 2着)

### 曾祖母ウインドインハーアヘIRE

愛、英、独3勝(アラボカル・独G1)、99年輸入、12年用途変更、ディープインパクト(日本ダービーG1、ジャパンC G1、日本リーディングサイヤー)の母

## 冴え渡る末脚で3年連続のGI制覇

第50回の節目を迎えたエリザベス女王杯にはレース史上初めて有馬記念の優勝馬が参戦。秋の始動戦・オールカマーを快勝した後、進路の矛先をここに向けてきたレガレイラが単勝2・3倍と断然の支持を集めめた。桜花賞3着、オーラス5着の3歳馬リンクスティップ、クイーンS 2着、札幌記念でも2着に追い込んだ「コナナツツブラン」と、重賞未勝利の2頭が主役に続々存在と目されたものの、結果はレガレイラが完勝。一枚も二枚も上の底力を見せつけてGI 3勝目を挙げた。

秋華賞で2着に逃げ粘ったエリカ工

クスプレスが、先手も辞さない構えで飛び出した内のシンリヨク力を従えて

飛び出た内に逃げ粘ったエリカ工

クスプレスが、先手も辞さない構えで

飛び出した内に逃げ粘ったエリカ工

クスプレスが、先手も辞さない構えで

飛び出した内に逃げ粘ったエリカ工</